

意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

案 件 名	登別市DX推進計画（案）	
意見の募集期間	令和4年2月3日（木）から令和4年3月4日（金）	
担 当 グ ル ー プ	総務部行政経営グループ	
意見の提出件数	2件	
提出された意見の概要と市の考え方		
NO	意見の概要	市の考え方
1	<p>【1】せっかくマイナンバーカードがあるのに活用しきれていないように思います。市役所へ来庁した際に署名（記名）や捺印（は減りましたが）を求める機会がありますが、マイナンバーカードには証明書がついているわけですから、暗証番号・パスワード・顔認証等の方法で本人確認と承諾ができるわけです。この方式を推進すべきではないか。用紙に記載して提出にかえて認証部分だけマイナンバーカードの機能でよくないですか？</p> <p>そもそも論として来庁する手続きを減らす事が合理的な社会になると考えます。</p>	<p>マイナンバーカードについては、国や市町村等が提供する様々な行政サービスを利用するにあたり、今後、ますます利用の機会が増加してくるものと認識しております。そのためには、マイナンバーカードの普及促進を図ると同時に、マイナンバーカードを持つことのメリットを享受できる環境を構築することが肝要であります。ご意見のとおり、マイナンバーカードを活用することにより、公的個人認証による本人確認機能などを利用することによって手続きが簡素化できたり、そもそも窓口に来庁しなくてもオンラインによる行政手続きが可能でありますので、電子申請サービスの拡充を図るなど、市民の利便性向上に資する取組を推進してまいります。</p>
	<p>【2】LGWANの在り方についても在宅勤務でどこまで許可し何をしてはいけないのか（市民の個人情報等）を明確化しその定義をすべきです。</p>	<p>在宅勤務につきましては、現在、試行的に実施しているところであります。在宅勤務の実施にあたっては、市が所有する個人情報を持ち出さないことや持ち出した資料及び作成した成果物を他者が閲覧、複写しないよう最大限の注意を払うことなど、一定のルールを定め、セキュリティ面を十分に配慮した上での運用に努めております。</p>
	<p>【3】現金以外の決済（キャッシュレス）についてそもそも、印紙や証紙（北海道の制度）から脱却する事も必要です。現金決済だと不正の温床となるので電子決済であれば「記録が残る」という概念の記述が必要ではないか。他市の事例でも職員が現金を不適切に扱い処分を受ける事例もあります。</p> <p>釣り銭準備金についても記載が必要です。金融機関は今後益々硬貨の取り扱いで手数料を徴収するようになります。</p> <p>また一方で「税金を納める場合には無制限に貨幣を使えます」というのが今後増えるのではないかと考えます。</p>	<p>キャッシュレス化につきましては、国を挙げて推進している施策であり、国は令和7年6月までにキャッシュレス決済の比率を倍増し、4割程度とすることを目指しており、自治体にとっても市民サービス向上の観点や新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減、行政のデジタル化の推進などからキャッシュレス決済の導入は必要不可欠であると考えております。</p> <p>本市におきましても、令和4年度中に、市役所本庁舎及び支所の窓口における証明書等交付手数料の支払いにあたっては、キャッシュレス決済が可能な</p>

	<p>は法律で 20 枚までとされる一方で税金では硬貨は無制限とされています。なので、硬貨釣り銭問題についてキャッシュレス議論に加える必要があります。</p>	<p>端末を導入することにより、多様な支払方法を可能とし、市民の利便性向上及び新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図ってまいります。</p>
2	<p>【1】マイナンバーカード普及促進の件ですが、国民が政府を信頼していなければ普及は難しいと思います。世界のマイナンバーカードと似たようなカードの成功している国は、国民と政府の信頼関係がしっかりしている国は成功しています。</p>	<p>マイナンバー制度は今後進展するであろうDXの取組の根幹を支える仕組みの一つとなります。</p> <p>マイナンバーカードの普及については、様々な要因があるものの、何よりしっかりとしたセキュリティ対策により市民の皆さんに安心していただくことが大前提でございますが、一方でマイナンバーカードを持つことによる利便性を向上させていくことが重要となります。</p> <p>単独自治体のみの発案で出来ることは多くありませんが、現在も注力しているマイナンバーカードの発行支援を継続して取り組むことに加え、マイナンバー制度に関する国の動向を注視し、一例としては電子申請サービスを拡充するなど、市民の利便性向上に努めてまいります。</p>
	<p>【2】セキュリティ対策の徹底ですが、何日か前にトヨタがウイルスに攻撃されたと記事を読みましたセキュリティは本当に難しいことで、かなりの優秀な人材を探し万全に取り組んで頂きたいと思えます。(台湾のオードリータンさんにお問い合わせするといいですね可能なら。)</p>	<p>セキュリティ対策についてでございますが、昨今の世界情勢などからもセキュリティリスクは高まる傾向にあります。</p> <p>セキュリティ対策はお金をかけるだけで高まるものではなく、「技術的対策」、「物理的対策」、「人的対策」と総合的な水準の向上が必要であり、職員研修に引き続き取り組むなど、個人情報の保護に努めてまいります。</p>
	<p>【3】デジタルに弱い市民にどのように対応するかも重要な案件になると思います。</p>	<p>デジタルに弱い市民の方、いわゆるデジタルデバイス対策ですが、令和4年度に試行的な取組になりますが、市が主催するスマートフォン講座を、まずは少人数を対象に開催することとしています。</p> <p>受講いただいた方からのご意見などを参考に、市として継続してデジタルデバイス対策に取り組むのか、民間の取組に委ねるのかなど検討してまいります。</p>
	<p>【4】ぜひ世界で成功している国(北欧の民主主義が育っている国)のシステムを参考にすることをおすすめします。</p>	<p>DXに関する世界の先進事例の取込についてでございますが、それぞれの国において行政サービスの水準やその成り立ちが様々であり、単純にその仕組みを取り込むことは難しいものと認識しておりますが、目指すべき到達点として参考になるものと考えます。</p>

		<p>こちらについても国による法整備が必要であったり、先進的な分、多額のコストを要するものが多いことから、単独自治体で速やかに実施することは多くないと考えますが、その根底にあるものは市民のみなさんが生活を送る上で便利だと感じていただくことと認識しておりますので、デジタルでより住みよいまちになるよう取組を進めてまいります。</p>
	<p>【5】カタカナが多くてとても苦労しました、カタカナの用語説明が一番初めに持ってきていただけるとわかりやすいと思いました、理由は読むときにこれらの言葉が出てく覚悟があって読めます。</p>	<p>カタカナ用語についてでございますが、行政から文書等をお示しするときにはできるだけ平易な単語を用いるよう努めておりますが、特にICTにかかわる分野においては、カタカナ用語が多く、また最新の用語が多い傾向にあります。</p> <p>カタカナ用語を平易な言葉に置き換えできる場合は、できるかぎり置き換えていきたいと考えますが、置き換えることで意味が通じにくくなることや細かなニュアンスが伝わりにくいことが想定されるため、本計画では巻末に用語集として掲載させていただきました。</p> <p>本文に目を通していただく前に用語集を掲載してもなかなか読みやすさにつながらないのではと考え巻末の掲載としましたが、用語集があることを早い段階で認識していただくことが望ましいと考えましたので、ご意見を参考に用語集を巻頭に移設させていただきます。</p>